

## 18 住宅火災

【関連章第7章1】

### 事例4 「電子レンジでさつまいもが過熱され出火した火災」

**出火時分** 11月 19時ごろ  
**用途等** 共同住宅 耐火造 5/0 延 3,000 m<sup>2</sup>  
**被害状況** 建物ぼや1棟 内壁若干等焼損  
**概要**

この火災は、共同住宅の2階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者が電子レンジを使用した際にさつまいもを過熱したために出火したものです。

居住者は、さつまいもをラップで包み電子レンジの出力を600Wに設定して15分間加熱していたところ、煙が出ているのを発見しています。居住者は、電子レンジからさつまいもを取り出し、シンクで水をかけ初期消火を実施した後、自身の携帯電話で119番通報を実施しています。

#### 教訓等

この火災は、居住者が電子レンジで食品を必要以上に加熱したことで出火しています。

電子レンジは、食品自体に含まれている水分子の電子を振動させる摩擦熱で食品が加熱される仕組みとなっており、水分含有量が少ないさつまいもなどのいも類は、長時間加熱しすぎると急速に燃える危険性があります。

電子レンジは、子どもから高齢者まで幅広い世代が手軽に利用できる便利な電気製品ですが、使用方法を誤ると大きな被害が発生する危険性があるため、使用する際は、取扱説明書で使用方法を確認するとともに適切な加熱時間で調理することが大事です。また、加熱する際はその場を離れず、食品の様子を見ながら加熱し、冷凍食品などを加熱する際は、「袋ごとレンジ不可」など包装の表示を確認し、電子レンジで調理できるか確実に確認してから使用することも大事です。



写真 18-7 電子レンジの状況



写真 18-8 加熱前の再現状況



写真 18-9 焼損したさつまいもの状況